

2021年度 児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

法人名 特定非営利活動法人 大志会

公表：2022年 3月 31日

事業所名

ホープふる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準を満たす人員を配置する。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		構造化された環境にまではなっていないが、階段には手すりを付けており、指導訓練室内はバリアフリーである。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	利用者がいないため実施できず。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	利用者がいないため実施できず。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は受けていない。今後、必要に応じて適宜対応していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部で行われる研修会への参加の他、事業所内での研修(勉強会)を行っている。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールまでは使っておらず、今後見直しの余地があると思われる。
	⑫	個別支援計画には、ガイドラインの「提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行い、固定化しないように工夫しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑯	個別支援計画に沿った支援が行われているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑺	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
関係機関や 保護者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉒	保育所や幼稚園、認定こども園、学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉔	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		現在対象利用児はいないが、受入体制が整った場合は必要に応じて適宜対応する。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（幼稚部・小学部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉘	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉙	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉚	（地域自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	今後参加を検討する。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	保護者への 説明責任等	㉝	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	
㉞		ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
㉟		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
㊱		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑨	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	④⑩	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	④⑪	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関する書類は、鍵をかけた状態で保管している。
	④⑫	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	④⑬	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民を招いての行事開催はできていない。今後検討する。
非常時等の対応	④⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各種対応マニュアルを作成し、職員間での情報共有は行っている。
	④⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			一時避難場所を事業所内に掲示し、定期的に避難訓練等を行っている。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設けており、事例検討などの研修を適宜行っている。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○			身体拘束防止委員会を設けており、事例検討を含めた研修を行っている。
	④⑱	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。
	⑤⑰	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		現在対象利用児はいないが、必要に応じて適宜対応する。

◎ この「事業所における自己評価結果」は、事業所全体で行った自己評価です。